



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 平和紙業株式会社
 コード番号 9929 URL <http://www.heiwapaper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長 (氏名) 浦戸 晴夫

TEL 03-3206-8501

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 4,971 | 2.9 | 23 | △22.7 | 46 | △8.4 | 22 | △27.8 |
| 27年3月期第1四半期 | 4,830 | △2.1 | 30 | 82.6 | 51 | 17.6 | 30 | 39.8 |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 143百万円 (253.0%) 27年3月期第1四半期 40百万円 (199.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 2.25 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 3.12 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 17,330 | 8,131 | 46.9 | 824.42 |
| 27年3月期 | 17,034 | 8,037 | 47.2 | 814.85 |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 8,131百万円 27年3月期 8,037百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 27年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|-----|------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 第2四半期(累計) | 10,247 | 3.7 | 135 | 1.5 | 156 | 1.2 | 94 | 1.6 | 9.53 |
| 通期 | 21,055 | 2.6 | 378 | 0.8 | 412 | 2.1 | 258 | 16.6 | 26.15 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 28年3月期1Q | 10,116,917 株 | 27年3月期 | 10,116,917 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 28年3月期1Q | 253,964 株 | 27年3月期 | 253,764 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年3月期1Q | 9,862,986 株 | 27年3月期1Q | 9,865,152 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が一巡し、緩やかに回復しつつあります。個人消費は実質所得の増加や株価上昇による消費者の購買意欲の改善等から、持ち直しの兆しがみられます。低金利等を背景に、企業には前向きな設備投資への動きがみられ、円安効果や原油安効果もあって企業収益は総じて改善傾向にあります。

紙業界におきましては、洋紙・板紙の国内出荷量がともに前年同期実績を下回りました。広告媒体としての紙需要は依然として根強いものの、その一方で広告掲載の電子媒体へのシフトによる紙離れの傾向はますます顕著で、印刷用紙は前年出荷量を割りこみました。また、板紙においては、段ボール原紙等の一部品目が健闘したものの、全体としては前年同期実績をわずかに下回りました。

このような環境の中で、当社グループは第9次3ヶ年中期経営計画の初年度にあたり、平和ブランド力を高め攻めの成長戦略を全員で実現することを最重要課題として取組み、技術紙の分野で前年同期実績を上回ることができました。しかしながら、ファンシーペーパー等の5品目においては、前年同期実績を下回る結果になりました。その一方で海外子会社が売上を伸ばし、グループ全体の売上向上に寄与しました。

その結果、売上高は49億71百万円（前年同期比2.9%増）となりました。利益面では経常利益は46百万円（前年同期比8.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

<当社の商品別の概況>

当社グループは、和洋紙の販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり、当社の和洋紙卸売業の売上高は連結売上高の90%超を占めるため、当社の商品別の概況を記載しております。

| 品目別 | 前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | | 当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | | 増減率 (%) |
|-----------|---|---------|---|---------|---------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | |
| ファンシーペーパー | 1,148 | 25.0 | 1,128 | 24.3 | △1.7 |
| ファインボード | 548 | 12.0 | 491 | 10.6 | △10.4 |
| 高級印刷紙 | 1,078 | 23.5 | 1,061 | 22.8 | △1.5 |
| ベーシックペーパー | 1,265 | 27.6 | 1,240 | 26.6 | △2.0 |
| 技術紙 | 466 | 10.1 | 654 | 14.1 | 40.5 |
| その他 | 84 | 1.8 | 74 | 1.6 | △12.2 |
| 合計 | 4,591 | 100.0 | 4,652 | 100.0 | 1.3 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

[ファンシーペーパー]

個性豊かな色や風合いで差別化を図るファンシーペーパーは、出版物の発行部数減少やカレンダー等の制作コストの縮小化傾向が根強く、販売量の伸びにはつながりませんでした。

その結果、売上高は11億28百万円となり、前年同期比1.7%の減少となりました。

[ファインボード]

高級感にて訴求力のあるファインボードは、主力用途である贈答用パッケージやDVD・CDケースにおいて、需要家の用紙コスト削減の影響による市場の縮小化傾向が続きました。

その結果、売上高は4億91百万円となり、前年同期比10.4%の減少となりました。

[高級印刷紙]

印刷適性の高い高級印刷紙は、環境対応型商品が市場に浸透するようになってきてはいるものの、依然としてコスト削減による制作部数の減少や安価な一般紙等への切り替えの影響を受けました。

その結果、売上高は10億61百万円となり、前年同期比1.5%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

一般的な印刷物に幅広く使用されるベーシックペーパーは、平成27年初頭の製紙メーカー各社による価格修正の表明を受け、前期末に卸商やユーザーによる価格修正前の買い増し傾向がありました。

その結果、売上高は12億40百万円となり、前年同期比2.0%の減少となりました。

[技術紙]

多様な機能性を備えた技術紙は、提案営業の強化を行ったことにより、耐水機能を持たせた用紙や各種証券用紙の販売量が増加しました。

その結果、売上高は6億54百万円となり、前年同期比40.5%の増加となりました。

[その他]

トイレットペーパーやティッシュペーパーを中心とした家庭紙や製紙関連資材の販売量はほぼ前年同期並でありましたが、前期のNISA（少額投資非課税制度）実施に伴う証券会社向け圧着ハガキの好調な売上を補うことが出来ませんでした。

その結果、売上高は74百万円となり、前年同期比12.2%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億95百万円増加して、173億30百万円となりました。主な要因は、商品が3億15百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2億1百万円増加して、91億98百万円となりました。主な要因は、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて94百万円増加して、81億31百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、良好な企業業績や所得雇用環境の改善により、賃金上昇をもたらす好循環が日本経済には期待されます。

紙業界におきましては、デジタル化やダウンサイズ化の波が依然として衰えないものの、好調な企業業績を背景に、印刷市場や紙器市場を中心に堅調な需要が期待されます。

このような環境の中で、当社グループは今年度より第9次3ヶ年計画を立上げました。その新たな方針に沿い、新しい取組みをそれぞれの部門で鋭意実行していく所存です。また、顧客ニーズに沿った効果的な用紙提案、常備在庫品の安定供給及び物流面での対応はもとより、販売機能の様々な強化策を通じて、あらゆる面でお客様へのサービス向上と自社の業績拡大を、これまで以上に図ってまいります。

平成28年3月期の連結業績につきましては、以下の通り見込んでおります。

| | | | |
|-----------------|-----------|------|----------|
| 連結売上高 | 21,055百万円 | (前期比 | 2.6%増収) |
| 連結営業利益 | 378百万円 | (同 | 0.8%増益) |
| 連結経常利益 | 412百万円 | (同 | 2.1%増益) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 258百万円 | (同 | 16.6%増益) |

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,498,251 | 2,399,317 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,833,123 | 6,796,190 |
| 有価証券 | 120,142 | 100,000 |
| 商品 | 3,815,560 | 4,131,237 |
| 貯蔵品 | 73,485 | 71,224 |
| その他 | 240,026 | 255,581 |
| 貸倒引当金 | △24,694 | △25,277 |
| 流動資産合計 | 13,555,895 | 13,728,273 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 937,622 | 929,588 |
| 無形固定資産 | 50,883 | 51,132 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,945,783 | 2,105,189 |
| その他 | 600,280 | 559,919 |
| 貸倒引当金 | △56,165 | △43,940 |
| 投資その他の資産合計 | 2,489,898 | 2,621,168 |
| 固定資産合計 | 3,478,403 | 3,601,890 |
| 資産合計 | 17,034,299 | 17,330,164 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,809,481 | 5,978,066 |
| 短期借入金 | 2,332,469 | 2,514,585 |
| 未払法人税等 | 13,487 | 10,069 |
| 賞与引当金 | 121,210 | 52,911 |
| その他 | 290,930 | 233,183 |
| 流動負債合計 | 8,567,580 | 8,788,816 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 242,834 | 232,939 |
| 資産除去債務 | 60,885 | 61,204 |
| その他 | 125,994 | 115,969 |
| 固定負債合計 | 429,713 | 410,112 |
| 負債合計 | 8,997,294 | 9,198,929 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,107,843 | 2,107,843 |
| 資本剰余金 | 2,331,387 | 2,331,387 |
| 利益剰余金 | 3,348,282 | 3,321,220 |
| 自己株式 | △123,717 | △123,803 |
| 株主資本合計 | 7,663,796 | 7,636,648 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 344,684 | 461,113 |
| 為替換算調整勘定 | 28,523 | 33,472 |
| その他の包括利益累計額合計 | 373,208 | 494,586 |
| 純資産合計 | 8,037,005 | 8,131,234 |
| 負債純資産合計 | 17,034,299 | 17,330,164 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,830,148 | 4,971,586 |
| 売上原価 | 3,908,968 | 4,030,587 |
| 売上総利益 | 921,179 | 940,999 |
| 販売費及び一般管理費 | 890,258 | 917,099 |
| 営業利益 | 30,920 | 23,899 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,859 | 3,149 |
| 受取配当金 | 15,988 | 16,677 |
| 受取賃貸料 | 5,535 | 6,219 |
| その他 | 1,824 | 3,491 |
| 営業外収益合計 | 26,207 | 29,537 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,217 | 2,564 |
| 賃貸用資産減価償却費 | 1,379 | 1,120 |
| 為替差損 | 383 | 1,853 |
| その他 | 1,128 | 1,142 |
| 営業外費用合計 | 6,108 | 6,679 |
| 経常利益 | 51,020 | 46,757 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 13 | — |
| 固定資産除却損 | 1,776 | — |
| 特別損失合計 | 1,789 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 49,230 | 46,757 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,092 | 3,915 |
| 法人税等調整額 | 15,316 | 20,587 |
| 法人税等合計 | 18,409 | 24,503 |
| 四半期純利益 | 30,821 | 22,253 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 30,821 | 22,253 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 30,821 | 22,253 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,671 | 116,428 |
| 為替換算調整勘定 | △2,798 | 4,948 |
| その他の包括利益合計 | 9,872 | 121,377 |
| 四半期包括利益 | 40,693 | 143,631 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 40,693 | 143,631 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。